

「上海で第3回“55ショッピング・フェスティバル”が開催」

洲澤 輝

<55ショッピング・フェスティバルとは>

上海市では今年8月1日から第3回上海「55ショッピング・フェスティバル（五五購物節）」が開催されています。「55ショッピング・フェスティバル」とは、上海市政府が主催する経済活動促進イベントです。期間中は上海市内のショッピングセンターやイベント会場で様々な催しが開催され、新型コロナウイルスで落ち込んだ消費を向上させるのが狙いです。

<虹口区の消費促進対策>

上海市虹口区ではフェスティバル期間中、計18のイベントがオンラインとオフラインで開催されます。スマートフォン向けの動画共有サービスを手掛ける抖音（Tik Tok）と連携して、ライブ配信による店舗探索やネットユーザーにオンラインクーポン券や団体購入券、時間限定の特別クーポン券などを配布し消費促進を行います。



【上海市虹口区のイベントポスター】

<巨額なクーポン券の配布>

上海市政府は消費促進を行うために大手企業と連携して巨額なクーポン券を配布しています。大手スーパーの百聯グループは、上海市商務委員会の呼びかけに応じ、7月28日から、傘下約4,000社の小売店で総額18億元（約350億円＝1元19円）のクーポン券を用意し、生活やファッション、住居に焦点を合わせ市民の消費意欲を刺激しています。また、家電販売大手の蘇寧易購は9月30日までに20億元（約395億円）のクーポン券の配布や20万台の特別価格家電の用意、そして、古い家電から新しい家電に買い替える際の1,200元（約23,000円）の補助金を提供しています。また、店舗で購入したお客に対して抽選で「金の延べ棒」をプレゼントするユニークなイベントも開催されています。

日本企業のパナソニックでも同じようなイベントを開催しています。「パナソニック家電スマートアクショ

ン」の販売促進計画では、消費者は「“你好松下”（こんにちはパナソニック）」のWeChat ミニプログラムをフォローすると、買い物時に使用できるクーポン券を受け取ることができます。また、同社が主催する「特別価格の販促イベント」にも参加することができます。

<現地で感じること>

上海では今年3月から6月まで約2カ月以上にわたるロックダウン（都市封鎖）が行われました。都市封鎖解除後はショッピングセンターや飲食店などは徐々に営業を再開し、賑わいを取り戻し始めています。しかし、ショッピングセンターによっては活気が無い場所もあります。先日、上海市内の静安寺駅付近にある高級ショッピングセンターに行ってきましたが、館内は閑散としており、1階のテナントはほとんど閉店していました。以前は高級ブランドのテナントで賑わっていたのですが、様子が変わり驚きました。特にアパレル店舗の閉店が目立ちます。都市封鎖期間中や封鎖解除後も在宅勤務をする人が増加しました。そのため、「お洒落」をする人が激減し、衣服のニーズがなくなり売れなくなり、アパレル業界は大きな打撃を受けることになったと言われています。

新型コロナウイルスが未だ収束しない中、上海市のショッピングセンターでは、客足が回復しておらず、食品や消費財などの大型展示会も延期が続いています。完全に消費が回復しない中で打ち出された今回の「55ショッピング・フェスティバル」で、上海市全体が早く活気を取り戻してほしいと思います。



【上海55ショッピング・フェスティバルのポスター】

画像・記事参照：百度、澎湃新聞 【以下中国語記事】
第3回「五五ショッピング・フェスティバル」が開幕して1週間、上海では消費の新ブームが巻き起こった。

上海虹口「五五ショッピング・フェスティバル」が18のイベントを開催、この様に購入すれば一番お金が節約できる。